

平安朝文学研究会 2016年度 第1回研究発表会

日 時 2016年10月1日(土) 14:30～16:45

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス(文学学術院) 39号館5階 第5会議室

○ 研究発表

李 賢秀 (早稲田大学大学院 文学研究科 修士課程)

『源氏物語』における嗅覚表現 ——空蟬物語と末摘花物語を中心に——

香の文化が発達した平安貴族社会では、人と人との関係において香りが重要なメディアとして機能する。こうした背景を持つ『源氏物語』では、特に恋をめぐる叙述において香りに関連した表現が頻出している。本発表では、源氏の青春時代が語られる空蟬物語と末摘花物語を中心に嗅覚表現の意義を考察したい。

柿寄理恵子 (早稲田大学大学院 教育学研究科 博士後期課程)

『今とりかへばや』男君の愛情表現について ——女東宮との関係性に注目して——

左大臣家の男君は、女装し尚侍として出仕した際に女東宮と性愛関係を結ぶが、男君が女装を解除した後、二人の間には次第に距離ができてしまう。本発表では女装時代からの男君の愛情表現に注目し、男君の精神面における変化の根底にあるものを考察する。

※どなたでも参加できます(無料)。ご来聴を歓迎いたします。

※当日は、同会場で13:40より委員会を、16:50より総会をそれぞれ予定しております。また、総会のあと、17:45より懇親会を開く予定です(於 かわうち)。

お問い合わせ先 平安朝文学研究会 事務局 陣野英則

TEL: 03-5286-3705(直通), E-mail: jinno@waseda.jp